



2017年3月期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

平成 29 年 5 月 10 日

2017年3月期決算概要と業績予想

テルモ株式会社
 常務執行役員 IR・広報室担当
 北畠 一明

2017年5月10日

為替の影響を除き増収増益、純利益は過去最高を達成 (億円)

	15年度	16年度	増減率	為替除く 増減率
売上高	5,250	5,142	-2%	+6%
粗利益	2,829 (53.9%)※	2,780 (54.1%)※	-2%	+8%
一般管理費	1,681 (32.0%)	1,677 (32.6%)	-0%	+9%
研究開発費	331 (6.3%)	337 (6.6%)	+2%	+8%
営業利益	817 (15.6%)	766 (14.9%)	-6%	+7%
(のれん等償却除く)	1,019 (19.4%)	973 (18.9%)	-5%	+8%
経常利益	731 (13.9%)	686 (13.3%)	-6%	
純利益	507 (9.7%)	542 (10.5%)	+7%	
期中平均レート	USD 120円	108円		
	EUR 133円	119円		

- 売上高 : 心臓血管の海外が引き続き、二桁伸長し全体を牽引
- 営業利益 : カテーテル高収益品の拡大、基盤医療器の物量増、品質システム改善コスト減で粗利率改善
- 経常利益 : 為替差損は前年比縮小(15年度:75億→16年度:41億)
- 純利益 : 仏ベンチャーとの共同開発解消による特損計上、オリンパス社株式の売却益

※一部生産子会社の一般管理費を売上原価へ組み替え(20億円)

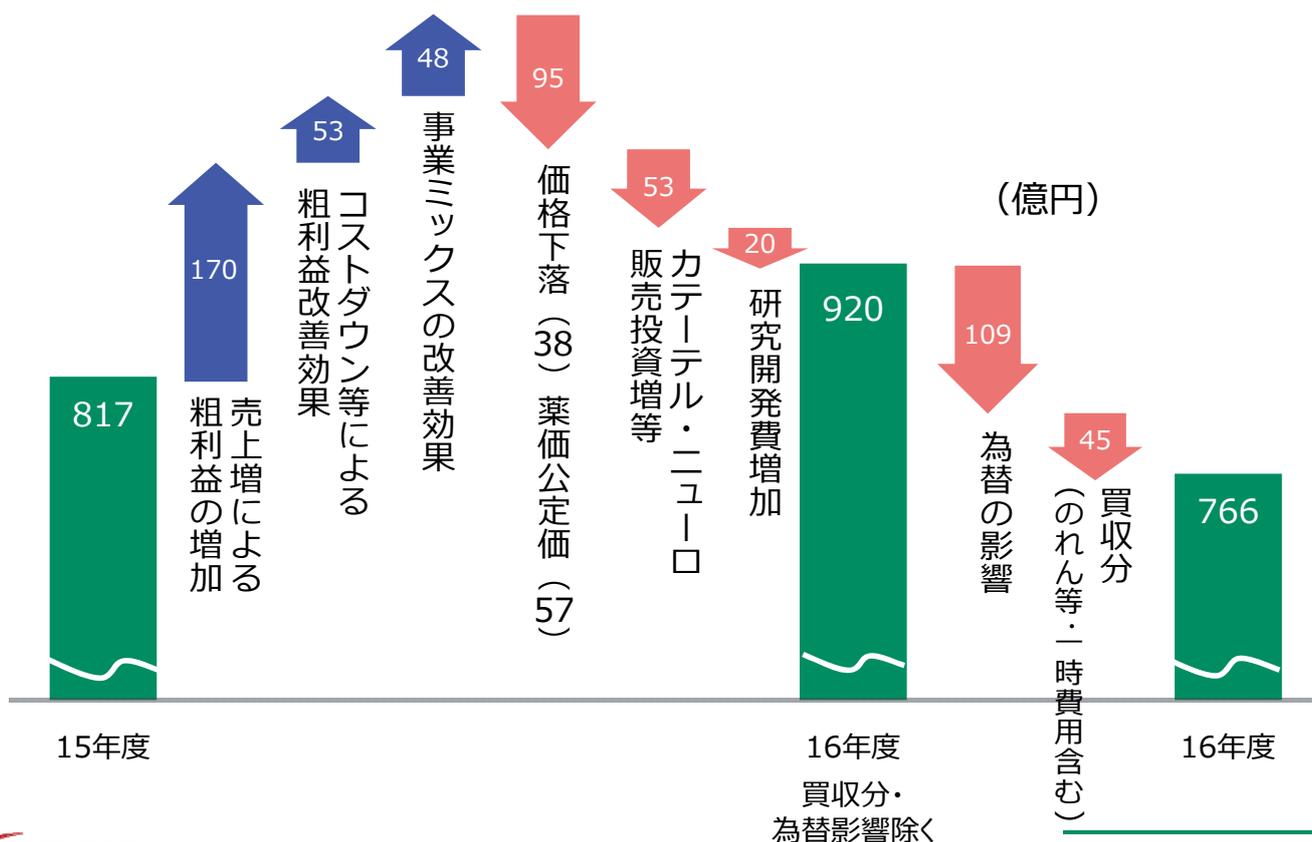
16年度業績予想比 主な変動要因

(億円)	2月9日付 業績予想	実績	増減		(億円)
売上高	5,100	5,142	+42	■ アクセス・ニューロ事業の売上上振れ	+20
営業利益 (率)	710 (13.9%)	766 (14.9%)	+56	■ 買収事業の売上順調	+10
経常利益	620	686	+66	■ 一般管理費の支出ズレ等 (心臓血管)	+10
純利益	475	542	+67	■ R&D: 治験時期ズレ、共同開発先からの開発費入金	+15
				■ 為替差損益・調達一時コスト時期ズレ	+10
				■ オリンパス社株式売却益他	+15

USD 107円 USD 108円
EUR 118円 EUR 119円



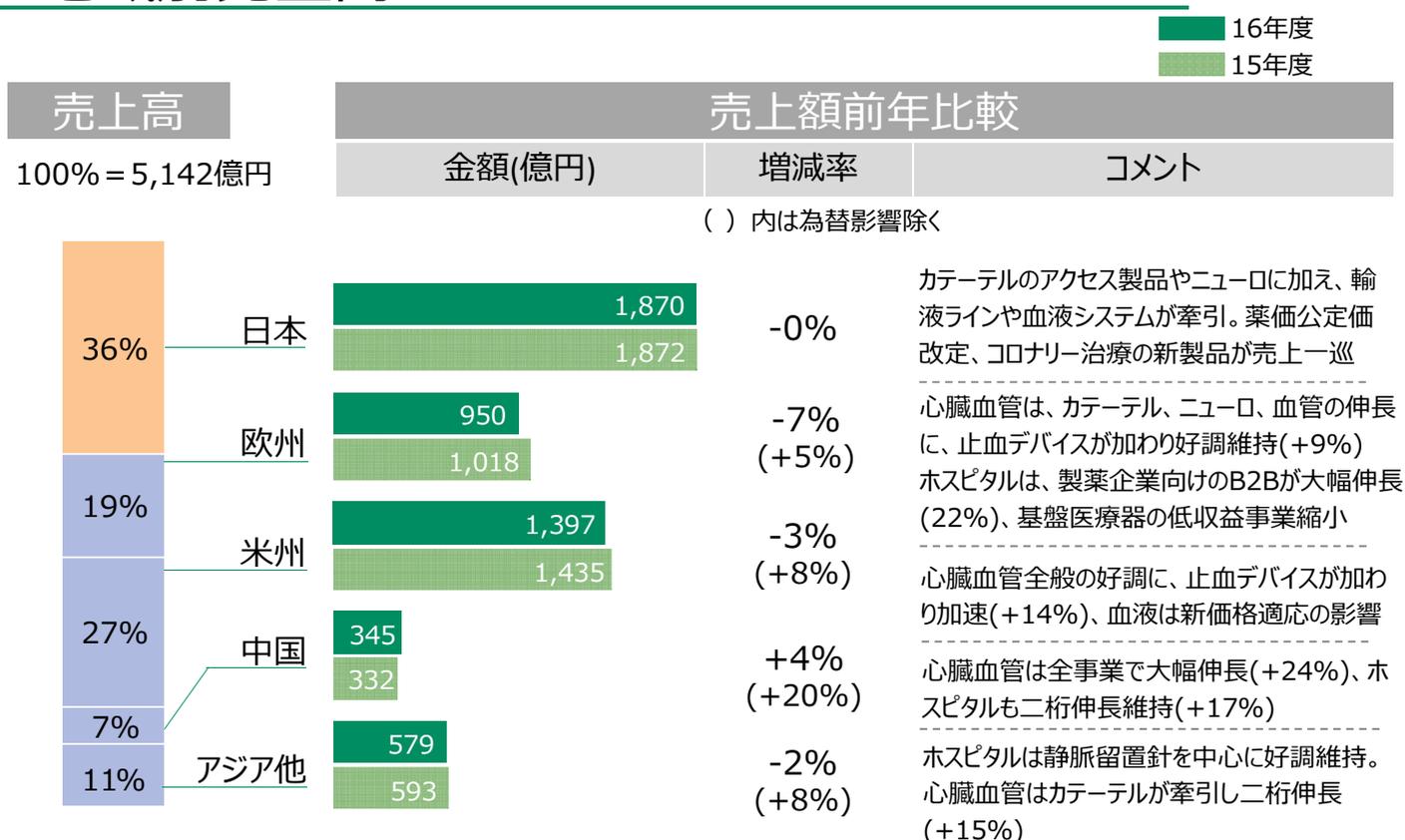
営業利益増減分析



16年度為替の営業利益への影響

通貨別	15年度 レート (円)	期初想定		16年度実績	
		レート (円)	対前年度・影響額 (億円)	レート (円)	対前年度・影響額 (億円)
USD	120	110	19	108	27
EUR	133	125	-23	119	-52
人民元	19	17	-15	16	-23
その他 (アジア・中南米等)			-66		-61
合計			-85		-109

地域別売上高

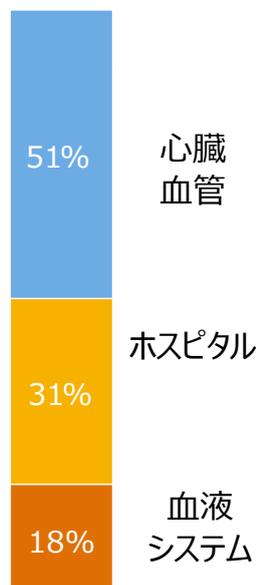


カンパニー別売上高

■ 16年度
■ 15年度

売上高

100% = 5,142億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 2,615 (16年度) 2,586 (15年度)	+1% (+11%)	公定価改定の影響を受けるも、海外カテーテルやニューロの牽引に、買収した止血デバイス等が加わり、全体で二桁伸長
ホスピタル 1,579 (16年度) 1,614 (15年度)	-2% (+0%)	基盤医療器では、欧州・中南米の低収益事業縮小の影響を、日本やアジアにおける輸液ラインや静脈留置針等の伸長で相殺。D&Dでは、薬価改定の影響を、海外の製薬企業向けD&Dの二桁伸長でカバー
血液システム 945 (16年度) 1,050 (15年度)	-10% (+0%)	米国血液センター向け製品の新価格の影響を、新興国ビジネスや、アフェシス治療が継続伸長し相殺



心臓血管：売上・利益ともに二桁伸長を達成

(億円)

	15年度	16年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	2,586	2,615	+1% (+11%)	為替のマイナス影響	-255
				日本：公定価改定のマイナス影響、 コロナリー治療の新製品が売上一巡 ニューロは二桁伸長(+16%)	-6
				海外：全事業でプラス伸長 カテーテル・ニューロは二桁伸長(+16%)	+227
				買収による増加	+63
事業利益(率)	634 (25%)	650 (25%)	+3% (+22%)	アクセスデバイスやコロナリー治療デバイスなど 高収益なカテーテル製品が牽引 ミサゴのリコールの影響(-20)	



ホスピタル：収益性改善が着実に進む

(億円)

	15年度	16年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1,614	1,579	-2% (+0%)	為替のマイナス影響	-40
				日本：輸液ライン中心に基盤医療器が伸長	+12
				造影剤代理販売終了	-13
				海外：欧州・中南米で低収益事業を縮小	-15
				欧州・製薬企業向けB2Bの伸長	+8
中国・アジアで静脈留置針等が牽引	+11				
事業利益(率)	226 (14%)	238 (15%)	+5% (+7%)	金利低下による年金コスト増のマイナス影響 基盤医療器を中心とした継続的なコスト改善 15年度：13.9% ⇒ 16年度：15.0%	

血液システム：米国新価格の影響一巡

(億円)

	15年度	16年度	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1,050	945	-10% (+0%)	為替のマイナス影響	-106
				米・血液センター向けの新価格適用	-20
				中東・ロシアのマクロ経済の影響	-6
				アフレス治療が伸長	+18
				新興国・血液センタービジネスの継続伸長	+12
事業利益(率)	169 (16%)	136 (14%)	-20% (-6%)	血液センター向けの新価格適用による粗利減に加え、 ベトナム工場の立ち上げ費用やR&D投資増 為替影響で大幅減益だが、それを除けば計画レベル達成	

16年度 主なトピックス

全社

- 国際会計基準（IFRS）の適用を発表（11月）
- 5カ年の中長期成長戦略を発表（12月）
- 442億円の自社株買い（2月）
- 3年連続の「健康経営銘柄」に選定（2月）

事業

- 国内初のスプレー式癒着防止材「アドスプレー」の承認取得（6月）
- TCVS社、米FDAによる販売制限が全面解除（6月）
- 買収を通じて心臓血管のポートフォリオを強化
 - 新・脳動脈瘤塞栓デバイスの米Sequent Medical社（6月）
 - St. Jude社・Abbott社の止血デバイス事業等（12月）
 - 胸部・腹部ステントグラフトの米Bolton Medical社（1月）



16年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	◎ ★ 仏	済み	CV	遠心ポンプ装置	垂	済み
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	◎ ★ 日	済み	再生	ハートシート	★ 日	済み
イメージング	IVUS	◎ ★ 日	済み	D&D	皮内投与デバイス	★ 日	17年度予定
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)	日・米・欧	日米済み		癒着防止材	★ 日	済み
	PTAバルーン (膝上・下両用, RX/OTW)	日・米・欧	日米済み	DM	血糖計 (フィットスマイル)	中	17年度予定
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)	日・米・欧	済み	血液	自動製剤化システム	★ 日	済み
脳	プロテクションデバイス	欧	17年度予定				
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	★ 欧	17年度予定				

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

DES「Ultimaster」
日本・フランス

癒着防止材
「AdSpray」日本

血管内超音波
診断システム
「AltaView」
日本



17年度業績予想

(億円)				参考
	16年度 実績	17年度 業績予想	増減率	IFRS基準 17年度 業績予想
売上高	5,142	5,750	+12%	5,750
営業利益 (率)	766 (14.9%)	820 (14.3%)	+7%	950 (16.5%)
経常利益	686	795	+16%	
純利益	542	530	-2%	680

為替レート USD 108円 110円
 EUR 119円 120円

17年度業績予想の買収分についてはPPA未了につき暫定値



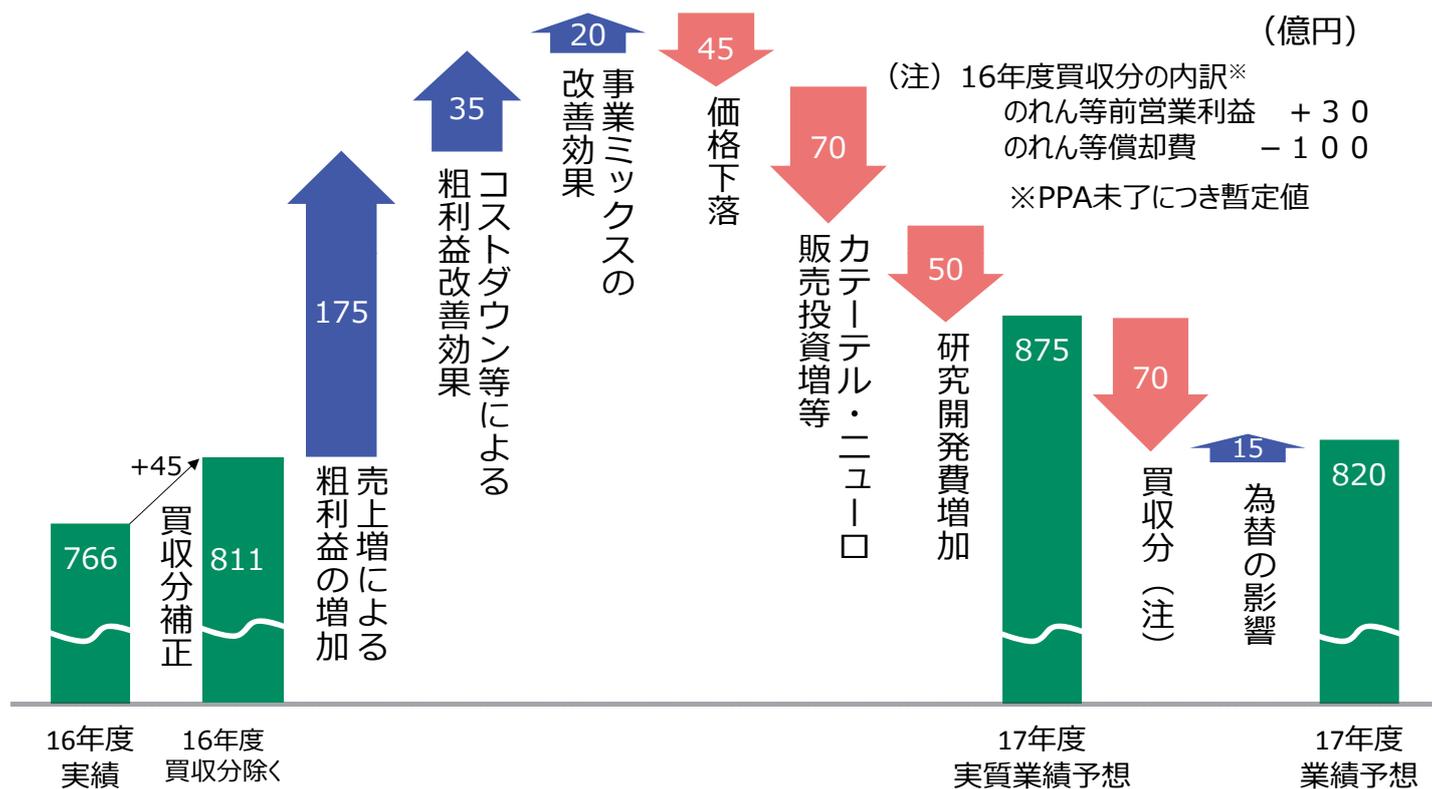
17年度業績予想 (買収分・為替影響除く)

(億円)						
	16年度 実績 買収分除く	17年度 業績予想 買収分・為替影響除く	増減率	為替 の影響	買収分	17年度 業績予想
売上高	5,078	5,365	+6%	+60	+325	5,750
営業利益 (率)	811 (16.0%)	875 (16.3%)	+8%	+15	-70	820 (14.3%)
経常利益	732	855	+17%	+15	-75	795
純利益	587	565	-4%	+10	-45	530

為替レート USD 108円 108円 110円
 EUR 119円 119円 120円



17年度業績予想 (増減要因)



17年度業績予想：3カンパニーで増収増益

	売上※		事業利益※		コメント
	金額 (億円)	増減率	金額 (億円)	増減率	
心臓血管	17年度	3,080	23%	720	+11% カテーテルのみならず全事業による売上・利益貢献へ
	16年度	2,615	+18%	650	
ホスピタル	17年度	1,605	15%	245	+3% 着実な成長 収益の改善を継続
	16年度	1,579	+2%	238	
血液システム	17年度	1,005	14%	145	+6% 成長軌道への回帰 新興国、アフレスシス治療等が伸長
	16年度	945	+6%	136	

※ 為替影響除く、買収分含む

2017年3月期 連結決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2016年3月期			2017年3月期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	37,102	139,510	176,613	35,898	-3.2%	144,305	3.4%	180,204	2.0%
ニューロバスキュラー	2,489	23,811	26,301	2,885	15.9%	25,764	8.2%	28,650	8.9%
CV	9,882	31,928	41,810	10,205	3.3%	29,571	-7.4%	39,777	-4.9%
血管	2,079	11,795	13,875	1,985	-4.5%	10,912	-7.5%	12,897	-7.0%
心臓血管カンパニー	51,554	207,046	258,600	50,975	-1.1%	210,554	1.7%	261,529	1.1%
基盤医療器	49,896	27,806	77,702	51,118	2.4%	25,112	-9.7%	76,230	-1.9%
D&D	52,838	5,511	58,350	51,433	-2.7%	5,723	3.8%	57,156	-2.0%
DM・ヘルスケア	21,443	3,885	25,329	21,245	-0.9%	3,313	-14.7%	24,558	-3.0%
ホスピタルカンパニー	124,178	37,203	161,382	123,797	-0.3%	34,149	-8.2%	157,946	-2.1%
血液システムカンパニー	11,477	93,565	105,042	12,023	4.8%	82,460	-11.9%	94,483	-10.1%
その他	-	-	-	205	-	-	-	205	-
計	187,210	337,815	525,026	187,000	-0.1%	327,163	-3.2%	514,164	-2.1%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥120.15)
(EUR1=¥132.60)

(USD1=¥108.34)
(EUR1=¥118.74)

キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2016年3月期	2017年3月期
営業キャッシュ・フロー	80,303	80,862
投資キャッシュ・フロー	△ 23,495	△ 181,433
フリーキャッシュ・フロー	56,808	△ 100,571
財務キャッシュ・フロー	△ 79,936	60,937
現金及び現金同等物の換算差額	△ 6,606	△ 2,246
現金及び現金同等物の増減	△ 29,734	△ 41,880
現金及び現金同等物の期首残高	176,662	146,927
現金及び現金同等物の期末残高	146,927	105,046

参考情報

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 見通し
研究開発費	33,147	33,747	41,000
設備投資額	31,454	39,091	46,500
減価償却費	44,674	45,400	56,000
一株当たり当期純利益(円)	135.14	150.15	150.58

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。